

接着剤の産廃処理

接着剤の廃棄には 一般産廃処理と 異なります。

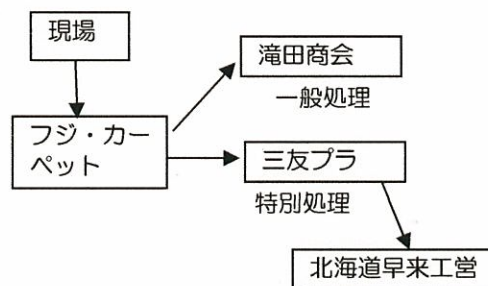


発行:環境対応企画室
ふじ瓦版は当社の社内報です
回覧後指定の場所にファイル

従来工事で余って使用できなくなった接着剤は一般産廃処理扱いで行って来ました。

しかし、接着剤の処理は「特別管理産業廃棄物」であり、滝田商会では取り扱うことができませんので、今年から三友プラントサービス株式会社に委託することになりました。最終処分は北海道の早来工営株式会社が管理型埋め立てとなります。

したがって、処理費用のコストアップともなります。処理費用を皆様にご存知いただき、ムダなコストアップを防止するためにも、皆様のご協力をお願いします。



18Kg 缶 1缶の処理費
200円(空缶) ~ 1,800円
空か空でないか それの問題だ

産業廃棄物の名称	荷姿	価格
接着剤(18Kg)	缶	1800/缶
接着剤(10Kg以下)	Kg	120/Kg
接着剤付空缶	Kg	200/缶
接着剤付紙箱	Kg	500/Kg

日ごろの血の如きような皆様の原価削減の努力が無駄にならないように、次の要領で行いましょう。

処理費削減のポイント

- ① **接着剤は使い切る。**
よく空缶に接着剤が固まって残っています。これですと、1Kgで120円の費用がかかります。全部使い切れれば1缶200円
- ② **少し残って使えそうもない時は捨て缶を作り、一缶にまとめてしまう。**
この判断は難しそうですが、おおいに節約できそうです。
- ③ **現場に口開けののり缶があったら、使いまわしてもらうように職人さんに協力してもらいましょう。**

他によい方法はありませんか。皆様のお知恵拝借です。

とにかく、使い切るのが仕入れも削減、処理費も削減と最良の策です。

社内処理について

従来通り、産廃処理品置き場(ごみ捨て場)のカーペット類の場所に置いてください。小泉課長が三友プラントサービスに持ち込みます。